

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

別添様式2

公表日： 2021年 4月 1日

事業所名：放課後等デイサービスぱたぱた有瀬校

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	法令に遵守したスペースを提供している。	・施設内はとてども広く、走り回ったり、みんなで活動したり、子どもが楽しいと言っていた。 ・先生の目の届きやすい空間だと思う。	特になし。(以降空欄は特になしと同義とする。)
	2 職員の適切な配置	利用者と職員の比率が2を割らないよう人員確保を行っている。	・子ども達一人一人をしっかりと見てくれているので安心している。	独自の比率を割らないように人員を配置し続ける
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	入口など、建築物に依存するところはバリアフリーが困難である。それ以外の場所は必要に応じてバリアフリー化を進めるよう努力する。	・入口や洗面のところに少し段差がある。	
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	空気清浄機を設置し、始まりと終わりに清掃・空気の入替えを行っている。机や椅子は移動できるものにし、子ども達の活動に合わせて適切な対応がとれるようにしている。	・いつも清潔にされている。	掃除を適時行っていく。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	随時話し合いの場を設け改善案を出している。		
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	今後実施できるように検討していきたい。		
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	外部研修を受けれるように日程調整している。		
適切な支援の	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	保護者との面談の中で子どもと保護者のニーズを聞き取り、個別支援会議を実施。6ヶ月に一度、放課後等デイサービス計画(支援計画)を作成している。		
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	個々に検査結果等を提出して頂き、把握に努めている。	・帰りの送迎時も、その日の子どもの様子や最近の家での様子など職員の方とお話する時間があり、丁寧に伝えてくれるので安心している。 ・面談の際は、細かなところまでお話を聞いて	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
提供	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	保護者にも分かりやすいよう、言葉選びに気を付けたり、できるだけ具体的に記載するよう務めている。	ていただき、とても嬉しかった。	
適切な支援の提供 (続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	一人一人の支援計画、活動計画に沿って行っている。		
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	職員会議などを行い決めている。		
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	時間に応じた活動内容を設定している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用時間が長い日は様々な活動を行っている。</li> <li>・コロナのこともあるので、仕方ないがもう少し課外活動を増やしてほしい。</li> </ul>	コロナの状況を見ながら、課外活動も多く取り入れていこうと計画している。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	新しいプログラムの検討を随時している。		
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	支援開始前にミーティングをしている。		
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	支援後にミーティングをしている。		
	10 日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	記録をとり改善案がないか検討している。		

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	6か月毎にモニタリングを行って見直しを検討している。		
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	適切な職員が行っている。	
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	なし。	
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	なし。	
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有		
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、		
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	特になし。	
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	特になし。	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	特になし。		
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時に質疑応答を交え誤解の無いよう努力している。	・契約の時に、しっかり説明していただいたと思う。・忘れてしまった時に質問した際は、丁寧に教えてくださり、助かった。	
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明			
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施			
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	面談はもちろん、送迎時も保護者と子どもの日々の様子について話をするようにしている。連絡ノートを利用してのやりとりも毎日行っている。		
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	できる範囲で行っている。	日々の連絡ノートがあるので、相談しやすく、話も細かなところまで聞いていただける。	
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	行っていない。		
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情相談窓口を設置している。苦情があった場合、迅速かつ適切に対応するように指導している。		
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	カード等の備品も使用しつつ、なるべくわかりやすく伝えるように指導している。送迎時、保護者とお話をする時間を作っている。		

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	連絡帳の記入やイベントのプリントを配布している。	・その日の活動や子どもの様子を連絡ノートに分かりやすく記入してくれていて助かる。読むのが楽しみである。 ・活動の様子を写真で見たい。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	設立時に指定されている鍵付き保管庫にて保存している。	
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	作成している。緊急時や災害時のマニュアルは保護者にも渡していて、必ず自宅保管していただくように周知している。	
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	災害時マニュアルを作成している。避難訓練を実施している。	
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	研修を実施している。	
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	身体拘束について実施する予定がないので決めていない。保護者側からの要請があった場合に検討する。	
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	保護者からの書面と聞き取りにてアレルギーの有無を確認している。	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	事例集を作成している。		